



# 40周年 第九たいむず 高崎の第九

2014.3.27

No.40

通刊 1085

担当 GON

今年の厳しかった寒さもようやく和らぎ、今日は関東でも桜の開花の報がありました。春風に誘われ、久しぶりに快適な自転車トレーニングも出来ました。堅くなっていた身体を和らげ、メイコンに向け楽しく練習に励もう！

## ◆ メイコンサートのチラシ・チケットが出来上がりました！

先週メイコンサートのチケットもできあがり配布開始しました。チラシの配布チケットの販売に尽力ください。私たち団員が宣伝し、チケットを売り、たくさんのお客様とメイコンを成功させましょう。チケットは本来、1枚1,000円ですが、20枚8,000円で出演者の皆様に購入していただきます。追加のチケットは1枚400円で販売いたします。例年20枚10,000円でしたが、今年度は出演者してくださる方が多数いらっしゃるので、8,000円となりました。是非、お客さまにたくさん来ていただくためにチケットは手持ちせず、販売していただきますようお願い致します。メイコンサートは第九の演奏会に来てくださった方に感謝の気持ちを込めてご招待されている方もいらっしゃるようですが、1,000円で販売していただくことも構いません。自由です。尚、メイコンサートに座席指定はありません。

## ◆ ご注意！来週4月3日(木)より教会裏手の駐車場位置が変更になります。

## ◆ ご注意！4月17日(木)練習会場が変更になります。 詳しくは前号を！

## ◆ 4月20日(日)特別練習、時間が変更になりました！

4月20日(日)メイコンサート特別練習が中央公民館集会ホールで行われます。当初10時から16時までの予定でしたが、練習時間が9時から15時までに変更になりました。同日に「市民文化会館」で大きな催しが行われるため時間を早めましたが、できる限り、公共交通機関を利用したり、乗り合わせのうえ車台数減を図って下さい。また、メイコンサートの衣装合わせがありますので、衣装、お弁当・飲み物をご持参ください。

## ◆ メイコンサートの衣装について

1ステージ: Around the World は前半と後半で雰囲気を変える予定です。7曲目の「流浪の民」演奏後、退場し、先生方によるソロのステージの間にチェンジします。来週の練習日にモデルさんが登場し、説明がありますので、お楽しみに♪

3ステージ: メリー・ウイドウはパリの社交界が舞台です。ドレスアップしてください♪女声の方で衣装がないと言う方は、貸して下さる方がいらっしゃいますので、受付にお申し出ください。

\* Around the World は楽譜を持つことも検討中ですが、メリー・ウイドウは暗譜です。

## ◆ Around the World の練習用CD

Around the World の練習用CD(アルトのみ)を木村先生が作成してくださいました。1枚200円受付にてお求めください。また、バスの練習用CDも作成しました。大里まで。

## ◆ 総会でのミニコンサートへの出演者を募集します♪5月1日締め切りです

5月22日総会終了後行われるミニコンサートへの出演者を募集します♪申込みは瀧川先生まで。

★先週の練習日に、『花祭り』は取り止めの話がありました。誰です？良かったなんて！★

練習の進行具合次第ですが、本番では、楽譜を持って歌う事で考えています。練習がきつい方もご安心のほどを。でも楽譜は持って、中心は指揮者ですので、両方見るテクニックを磨いてね。

◆ **今後の予定**

- 4月17日(木) **練習会場 中央公民館視聴覚室に変更**
- 4月20日(日) **メイコンサートのための特別練習**(中央公民館集会ホール・9時～15時)
- 5月18日(日) **メイコンサート** (ゲストソリストに出来田三智子さん)
- 5月22日(木) **総会&ミニコンサート** 5月29日(木) **お休み**
- 6月 5日(木) **第41回発声式**
- 8月24日(日) **サマーレッスン**
- 11月 8日(土)・9日(日) **軽井沢レッスン**
- 12月20日(土) **第41回第九演奏会**

◆ **情報イベント**

- ◎ **第21回「邦楽春の祭典」** 4月13日(日) 12:30開場 13:00開演 会場:高崎文化会館 無料  
バス大里さんが参加している「NPO法人 三曲合奏研究グループ」主催の定番になっている、邦楽(琴、尺八、三味線による音楽)が開催されます。心に響く和の音楽を聴いてみませんか？バス大里さんまで。
- ◎ **第6回国際シニア合唱祭「ゴールデンウエーブ in 横浜」** 4月14日(月) **合唱団「JOY」参加**  
高崎第九合唱団からもたくさんの方が参加している、混声合唱団「JOY」が5回目の参加をします。
- ◎ **北海道大学合唱団創立100周年記念:第10回北大OB会演奏会**  
5月11日(日)札幌コンサートホールKitara大ホール 入場料1,000円  
20歳代から90歳代の200名が出演し、シレット半島の漁夫の歌(伊福部昭)、多田武彦委嘱曲(初演)、二群男声合唱「讃歌」(委嘱初演)、歌い継ぐ愛唱歌等20数曲を歌います。詳細はバス安達さんまで。

◆ **琵琶湖ホール、「フィガロの結婚」を見てきました。 赤羽洋子**

憧れの琵琶湖ホール、3月22日小澤征爾指揮の「フィガロの結婚」を見てきました。小澤征爾の新しい試みで「ドラマティック形式」の演奏会です。まずこの耳慣れない単語に興味を持ちました。

大劇場なのに大掛かりなセットに頼らず、凝縮された表現方法を追求し小澤征爾独自のオリジナルステージを作り上げようとする新たな挑戦とのことでした。昨年松本市のサイトウ・キネン・フェスティバルを聴きに行った折には、まだ体力的な問題から1時間の小オペラを指揮していた小澤征爾が、3時間近くのおペラ上演で体力がもつのか気になっていましたが、これも新しい試みでオペラのレチタイヴ担当のチェンバロが指揮者も兼ね、二人の指揮者が知らない内に交代しつつ演奏を続けています。オーケストラピットが地下に潜らないでオケも指揮者も完全に見えて、ステージがその上に出来ていて両方楽しめました。二人の指揮者が入れ替わりつつ小澤征爾の体力を温存しつつのおペラは感動的で、何度もカーテンコールに答える姿は自分の音楽を作り上げた自信と満足感に溢れて楽しそうでした。世界的な指揮者が一日も長く日本音楽界を牽引して欲しいと願いました。

又、琵琶湖ホールは国内でも評判に響きの良いホールで、今回高崎に出来る新音楽ホールの設計と同じ「佐藤総合計画」の作品という事にも興味を持っていました。琵琶湖畔にある白亜の外観はシドニーオペラハウスを小さくしたイメージで多少期待外れでしたが、足を踏み入るとホワイエは優しい薄ピンクの絨毯と大理石の壁に温かく包み込まれて心安らぐ空間を演出していました。客席は木のぬくもりに溢れ素晴らしい響きに上質な時間を味わいました。開演2時間前に入りホワイエに在る「レストランオペラ」で豪華なコース料理とロゼシャンパンを楽しみ(勿論海老も近江牛も食べましたよ)優雅な時間を幸せに過ごして活力を養ってきました。

◆ **今月のお誕生日♪ 3月生まれの皆さん♪ おめでとうございます!**

今月のお誕生日のみなさまをご紹介します♪(団員登録済の方を最終週に掲載します。)  
友田好明(B・2日)五十嵐洋子(S・3日)馬場あい子(A・13日)朝山洋子(S・14日)羽鳥幸子(A・14日)古賀由起子(S・17日)雨宮佳子(S・20日)中山さち子(A・20日)ユリヤ・レヴ(P・21日)田上治子(S・21日)富田満智子(A・25日)原高峰(A・27日)竹内沙耶香(A・28日)城谷輝将(B・29日)臼田順子(S・30日)



# メイコンサート第3ステージ『メリー・ウイドウより』成功の為の資料

――皆でメリー・ウイドウを楽しく演じましょう――

By 大里

## 1. あらすじ

### 【時と場所】

1905年当時、フランス・パリ

### 【登場人物】

ダニロ(T, Br): 公使館の書記官

ハンナ(S): 老富豪の未亡人(ウイドウ)

ツェータ男爵(Br): パリ駐在のポンテヴェドロ公使

ヴァランシエンヌ(S): ツェータ男爵の妻

カミーユ(T): パリの色男

ほか

☆ストーリーは一言で言うと、「ダニロとハンナが寄り戻す」話であります☆

### 【第1幕】<パリのポンテヴェドロ公使館での「国王誕生日の祝賀会」が中心です。>

時は1905年当時、舞台はパリ。パリにあるポンテヴェドロ(仮想の小国)公使館では、公使のツェータ男爵が悩みを抱えていました。それは、老富豪と結婚後わずか8日で未亡人となったハンナが、パリに居住を移したこと。もしハンナがパリの男と結婚したら、莫大な遺産が母国ポンテヴェドロから失われることとなり、国の存亡に関わるのです。

そこでツェータ男爵は、公使館の書記官ダニロを彼女と結婚させて、遺産が他国に流出するのを食い止めようとしています。実はダニロは、ハンナと過去に愛し合っていた仲でしたが、身分の違いから彼の親族が反対したため、結婚できなかったという経緯がありました。彼は、大金持ちとなったハンナに、いまさら結婚したいと言い出せません。ハンナとしても意地があるわけで、素直になることはできません。

### 【第2幕】<翌日のハンナ邸での夜会>が場面の中心です。

翌日、ハンナ邸で開かれた夜会で、ツェータ男爵の妻ヴァランシエンヌが、パリの色男カミーユに口説かれていました。ヴァランシエンヌは自らの扇子に「私は貞淑な人妻です」と書いて誘いを断ります。けれど、ヴァランシエンヌはとうとうカミーユの誘いを振り切れず、庭の小屋で二人きりになります。それに気付いたのが夫のツェータ男爵。怒って現場を押さえようすると、小屋から出てきたのはカミーユとハンナでした。ヴァランシエンヌを救うためにハンナがうまく入れ替わったのです。そして成り行きでハンナは、カミーユとの婚約を発表します。それを聞いて驚いたのはダニロ。彼は心の中の動揺が隠せません。彼の動揺する姿から、ハンナは自分への愛を確かめることができました。

### 【第3幕】<第2幕の夜会の続きで、余興としてのマキシムの踊り子達を招いたどんちゃん騒ぎ>です。

祖国存亡の名目もあり、ダニロは、ハンナとカミーユの結婚を阻止しようと、ハンナを説得します。カミーユとの結婚は無しとなり、ダニロとハンナは和解しましたが、それでもダニロは結婚を申し込もうとしません。

このときハンナは、亡夫の遺言に「再婚するなら、彼女は全財産を失う」とあることを明らかにします。それを聞いて喜んだダニロは、即座に求婚しました。ハンナは喜んでこの申し出を受けて、遺言の続きを明らかにします。そこには「彼女の失った全財産は、再婚した相手に与える」とあったのです。ところで、ハンナ邸の庭の小屋にヴァランシエンヌの扇子が落ちていたことから、カミーユとの一件が、ツェータ男爵の知るところとなります。ツェータ男爵がヴァランシエンヌに離婚を告げると、彼女は扇子を開くように言います。そこにはもちろん「私は貞淑な人妻です」と書かれており、ツェータ男爵は妻に許しを求めたのです。――めでたしめでたし――

## 2. 私たちが歌う歌の場面設定

### 1)「ヴィリアの歌」

第2幕ハンナ邸での夜会の冒頭、ハンナが祖国の人達と、祖国ポンテヴェドロの民謡を挟み、祖国の伝説的な妖精「ヴィリア」と若者の切ない恋の歌を歌います。

### 2)「女を射止める手だては」

ダニロが、問題の浮気の印の扇子の持ち主探しをし、いろいろな女性の動きを嘆き同感の男達と心の底から出る、女性に対する嘆きを7重唱で歌います。

### 3)「こうでなくちゃあ」

第二幕の最後、ダニロとハンナの意地の張り合いは続いているのですが、感触を得たハンナが、やけっぱちも含め「こうでなくちゃあ」とダニロに迫ります。

### 4)「ギャロップ」

第3幕、夜会の余興として、ヴェランシエンヌ婦人も含め、パリの「マキシム」の踊り子と、カンカンを、踊ります。パリの夜の華やかであり、且つ最高に退廃的なムードが必要ですね。

### 5)「女には勝てない」

第3幕終章。ダニロとハンナの意地の張り合い、ツェータ男爵夫人の浮気問題、そして、ポンヴェドロ国の財政危機も解決、大団円となり高らかに『女には勝てない』の大合唱になります。

＝以上は、DVDを観て勝手に大里が解釈致しました＝

## 3. 「女を射止める手だては」女声版替え歌

前、2)項「女を射止める手だては」の男声の一方的、女声棚卸しに対抗し？女声の替え歌を入れる演出もあります。

今回は、赤羽先生がDVDより歌詞を取り、日本語歌詞に当てはめてくださいました。

(先生の本心ではないと信じます)

曰く、『男は自信過剰ね』です。

こちら『女を射止める手だては』です。

男の人達 女の扱い 十人十色よ いろいろな人

男のモットー なるようになれ！  
どんなタイプでも おえらい王様も  
独自の戦略は あの手この手も！  
赤いバラ抱えて あの手この手も！  
恥ずかしがりやさん あの手この手も！  
千鳥足の人も あの手この手も！  
大嘘つきの人 あの手この手も！  
お金持ちの人 あの手この手も！  
ハイネの詩を語る あの手この手も！  
気に入らないのです あの手この手も  
どれほど考えても 計り知れない心  
自信過剰なのよ それが男、男  
心の中覗き どこがいいのかしら  
髭を蓄えているのも 自信過剰なのよ  
やれやれやれやれ 男は男は  
やれやれやれやれ 男は男は  
どれほど考えても 計り知れない心  
自信過剰なのよ それが男、男  
心の中覗き どこがいいのかしら  
髭を蓄えているのも 自信過剰なのよ  
どれほど考えても 計り知れない心  
自信過剰なのよ それが男  
心の中覗き どこがいいのかしら  
凛々しい姿もいつも男は 自信過剰なのよ

女を射止める 手立てを教えろ 何一つ無いぜ 神様でもさ  
あのこをなびかす 手立ては誰も  
手に入れていない お偉い学者も  
ちやほやしてみても あの手この手も！  
だめだよ無駄なのだ あの手この手も！  
すましてみせる手も あの手この手も！  
なぐりつけてみても あの手この手も！  
猫なで声もだめ あの手この手も！  
怒ると泣き出すし あの手この手も！  
ひどくつけ上がるし あの手この手も！  
気に入らないのだな あの手この手も  
どれほど考えても 計り知れない心  
海より深いのだ それが女、女  
夢見心地誘う 青く澄んだ瞳も  
微笑む姿も いつも女はすごく神秘なのさ  
やれやれやれやれ 女とは女とは  
やれやれやれやれ 女とは  
どれほど考えても 計り知れない心  
海より深いのだ それが女女  
夢見心地誘う 青く澄んだ瞳も  
微笑む姿も いつも女はすごく神秘なのさ  
どれほど考えても 計り知れない心  
海より深いのだ それが女、女  
夢見心地誘う 青く澄んだ瞳も  
微笑む姿も いつも女はすごく神秘なのさ